

## 第3回 「道徳教育について考える会」 開催要項

日時：平成23年1月17日（月）

13：00～16：00

場所：ピュアリティまきび

### 1 開会

### 2 協議

「目指す子ども像」育成のための具体的な取組

(1) 高等学校における道徳教育の在り方

(2) 就学前における道徳教育の在り方

### 3 閉会

平成22年度「道徳教育について考える会」参加者

○ 委員（五十音順）

秋山 博正	くらしき作陽大学教授
今井 康好	岡山県教育庁指導課長
上原 正之	岡山県立津山東高等学校長
梶田 良枝	岡山県立岡山西支援学校長
片山ひとみ	日本児童文学者協会会員・備前市教育委員会教育委員長
栗本 貞子	倉敷市立水島中学校長
黒山 靖弘	岡山県教育庁特別支援教育課長
佐々木 勇	美咲町立美咲中央小学校長
白神 富子	倉敷市立中洲幼稚園長
田中 広矛	岡山県立和気閑谷高等学校教頭
中川 芳子	岡山県社会福祉協議会ボランティア・NPO活動支援センター所長
福原 洋子	岡山県教育庁生涯学習課総括副参事
藤谷 幸弘	岡山県PTA連合会長
三好佳代子	岡山市高島保育園長

○ 事務局

県教育庁指導課

## 「道徳教育について考える会 中間まとめ」

### 「心豊かなおかやまっ子」の育成に向けて

今日、子どもを取り巻く環境や社会の大きな変化により、子どもたちの様々な問題行動が深刻な社会問題となっています。また、自分に自信がもてない子ども、善悪が分かっているにもかかわらず行動に移せない子ども、人とのかかわりが苦手な子どもも増えています。

そこで、「道徳教育について考える会」では、岡山県教育委員会の教育の重点目標の一つである「心の教育」の在り方について検討することとしました。その中でも、子どもが社会性や道徳性を身に付け、健やかに育つためには、大人自身の生き方をはじめ子どもの成長にかかわる様々な環境や社会の在り方が大切なことから、学校・家庭・地域が一体となって取り組む「心の教育」の在り方についての検討を重ねました。

検討の中で、規範意識を向上するため、他人を思いやる心や、前向きに生きる意欲等、豊かな心の育成が重要であるという確認がなされました。

この度、その話し合いの内容の中間まとめを行いました。多くの方々が御活用くださり、具体的な行動につなげてくださるようお願いいたします。

#### 1 子どもたちの課題

- 規範意識の低下
- 人間関係の希薄化
- コミュニケーション能力の低下
- ねばり強さの低下

#### 2 目指す子ども像

- ◇ よりよく生きようとする子ども
- ◇ 規範意識の高い、他人を思いやることができる子ども
- ◇ 豊かな人間関係を構築できる子ども

#### 3 発達段階ごとの特徴を踏まえた取組

「心豊かなおかやまっ子」の育成においては、子どもの発達段階の特徴や連続性を踏まえて取り組むことが重要である。

- 就学前
  - ・ 基本的な生活習慣の形成
  - ・ 家庭や集団のきまりを守る意識の醸成
- 小学校
  - ・ 基本的信頼感の形成
  - ・ 自己肯定感の高揚
  - ・ 学校生活での規範意識の向上
- 中学校
  - ・ 友達や身近な人たちとの人間関係を築く力の育成
  - ・ 自己実現への意欲の高揚
  - ・ 学校や地域での規範意識の向上
- 高等学校
  - ・ 友達や地域の人たちとの人間関係を築く力の育成
  - ・ 人生を切り拓く意欲の高揚
  - ・ 社会的な規範意識の向上
  - ・ 一般社会において人間関係を築く力の育成

#### 4 取組の方策(例)

- 子どもたちの思いや願いをしっかりと受け止めよう。

**【学校では】**

- ・子どもたちのどんな発表も大切にしよう。
- ・授業中、子どもたちの間違っただ意見も生かそう。
- ・子どもの顔を見て、あいさつや声かけをしよう。
- ・子どもの気持ちや悩みを受け止めよう。

**【家庭では】**

- ・子どもの心を感じながら、じっくり時間をかけて本気で語り合おう。
- ・大人も子どもと一緒に命の大切さを考えよう。

**【地域では】**

- ・地域の子どもたちに、積極的にあいさつや声かけをしよう。

- 子どもに教えるべきことは繰り返し教え、子どもが考えるべきときはじっくり待とう。

**【学校では】**

- ・家庭や地域と連携して、心に響く道徳教育を推進しよう。
- ・学校や学級のきまりを守ることの意味や大切さを、きちんと伝えよう。

**【家庭では】**

- ・親が子どもに正しい言葉づかいを教えよう。
- ・子どもと将来のことや夢を語り合おう。
- ・家族で行動する中で、生命の大切さや社会のルール等、社会の中で大切なことを子どもの心に届けよう。

**【地域では】**

- ・礼儀、あいさつ、社会のルールを守ること等、大人として子どもたちによい手本を示そう。
- ・日ごろから地域の子どもたちと人間関係をつくっておき、子どもたちの不適切な行動を見かけたときには、きちんと注意しよう。

- 学校や家庭・地域で、豊かな体験の場をつくろう。

**【学校では】**

- ・友達と力を合わせてやり遂げ、達成感や充実感を味わえる場をつくろう。
- ・職場体験や奉仕活動等、自分の将来展望を深められる場をつくろう。
- ・文化や芸術にふれて感動できる場をつくろう。
- ・乳幼児とのふれあい等、命を感じられる場をつくろう。

**【家庭では】**

- ・動植物の世話等、命を育てられる場をつくろう。
- ・家庭での手伝い等、自分が人の役に立っていると実感できる場をつくろう。
- ・地域の行事に家族で積極的に参加しよう。

**【地域では】**

- ・地域の人と交流できる場をつくろう。
- ・地域の一員であることを実感できる場をつくろう。
- ・自然とふれあえる場をつくろう。
- ・高齢者や異年齢の友達とふれあえる場をつくろう。